

鹿児島ケース 株式会社

(金属製品製造業)

(日置市)

ステンレス・鉄・アルミ等の板材から長年培った加工技術を用いて、お客様に精密板金製品を提供しています。～信頼の心をつなぐモノづくり～を軸に、モノ作りに励んでいます。

Q(品質)D(納期)T(技術)C(コスト)を重視した製造企業づくりを行っています。加工のコツや、勤所をチームで共有することで、安定した加工品質・製品を提供しています。

また、チャレンジする設備投資を行い、従来評価頂いている精密板金製品に、ひずみの少ないレーザー溶接加工技術等取入れ、従来、形になりにくかった製品形状等の加工ができるようになりました。

いち早く、DX化にも取り組み、現場まで3Dデータを活用したものづくりを行っています。



代表取締役 居迫 伸孝

会社概要

2024年3月1日現在

■所在地 〒899-3309
鹿児島県日置市吹上町与倉
4954-19

■代表者 代表取締役
居迫 伸孝

■設立 1963年(昭和38年)5月

■TEL 099-245-1960

■資本金 1,000万円

■FAX 099-245-1961

■従業員数 43人

■E-Mail info@kcase.co.jp

■事業概要 ステンレス・鉄・アルミ・銅・真鍮の精密板金加工

■URL <https://www.kcase.jp/>

■主要製品 半導体装置・食品機器・産業機器・医療機器関係の精密板金部品・製缶・フレーム

『60年ものづくりに携わり、ノウハウを蓄積』

木工からスタートした当社のモノづくりですが、創業から60年が経ち、現在はステンレス、鉄、アルミ、銅、真鍮といった板材を使用した精密板金加工業として精密板金部品をお客様に提供しています。

地域の協力企業とも連携しながら、塗装品や、メッキ製品、高精度な架台等も製作し、お客様の幅広いニーズにお応えしています。

月の平均製作品種数は約5000品目にもなり、多品種少量生産を行うことで、多種多様なお客様からのニーズを生産管理体制を軸に、チームワークで生産を行っています。



当社の航空写真

『人の技術とロボットの技術を融合して、新たな付加価値を生み出す』

自動化に取り組むことで、生産性を向上しました。必要とされるロット数に対応できる製品も増加し、自動化に取り組むにあたって、人の加工ノウハウをロボット等に落とし込んでいます。ロボットでの自動加工だからこそできる加工技術も新たに発見し、レーザー溶接による新しい材料の溶接加工も可能となった実績があります。

また、母材切断工程においては、材料倉庫と加工機械を連結させ、材料投入や、端材輩出等の自動化を行い、コストを抑えた加工も実現できています。Q(品質)D(納期)T(技術)C(コスト)に毎年チャレンジしています。



ロボットによる溶接加工の様子



サーバーラック



ファイバーレーザー加工機



ステンレス盆栽